

「J-IDEO Vol.1 No.5」正誤表

(2018年2月現在)

「J-IDEO Vol.1 No.5」をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書に以下の誤りがございましたので、ここに訂正・加筆させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

629頁 『日本全国感染症ケースカンファレンス道場破り』

右段 上から3行目

(誤)下肢に一部livedo reculais/racemosa を認める.....

(正)下肢に一部livedo **reticularis**/racemosa を認める.....

632頁 『日本全国感染症ケースカンファレンス道場破り』

表3 日本紅斑熱とツツガムシ病の違い

(正)

表3 日本紅斑熱とツツガムシ病の違い

	日本紅斑熱	ツツガムシ病
潜伏期間	2～10日	5～14日
季節	(春～) 夏～秋	秋～冬 (～春)
病因	<i>Rickettsia japonica</i> を保有するマダニに刺されて発症	<i>Orientia tsutsugamushi</i> を保有するツツガムシの幼虫に刺されて発症
皮疹 紅斑の広がり	四肢末端→中枢 手掌や足底にもみられるが初期2～3日で消退する	中枢→末梢 手掌全体に多発する紅斑はみられない
皮疹 刺し口 (eschar)	5～10 mm 赤く丸い硬結 中心部に潰瘍や黒色痂皮	10～15 mm 中心部に潰瘍や黒色痂皮
リンパ節腫脹	ほとんど目立たない	全身, 特に刺し口の所属リンパ節が腫脹
治療	・MINO or DOXY 200 mg/day 分2 ・ニューキノロンの併用を推奨する専門家も	・MINO or DOXY 200 mg/day 分2 ・妊婦で AZM での治療報告あり